

令和5年度(2023年度) 第2回八王子市保健医療計画推進会議	
日時	令和5年(2023年)8月31日(木) 午後7時00分～午後8時30分
場所	八王子保健所401会議室
出席者氏名	委員 (敬称略)
	事務局
欠席者氏名(敬称略)	甲斐裕子、鳥羽正浩、山下恵理子
テーマ	(1)「第4期八王子市保健医療計画」の施策体系(案)について (2)「第4期八王子市保健医療計画」の取組(案)及び評価指標(案)について (3)その他
傍聴人	なし
配布資料	・資料1:八王子市保健医療計画推進会議委員名簿兼席次表 ・資料2:令和5年度(2023年度)第2回保健医療計画推進会議資料 ・資料3:第4期八王子市保健医療計画冊子イメージ
議事	
1 自己紹介	
発言者	内容
事務局	<p>ただいまより令和5年度第2回八王子市保健医療計画推進会議を開催いたします。</p> <p>本推進会議は、開催要項のとおり、市における保健医療に関して総合的な見地から意見交換を行う場としております。会議は原則公開で、会議録作成のため録音させていただきますので御了承ください。なお、議事録については、議事録案を作成しまして皆様に内容の確認を行った後、本市のホームページで公開してまいります。議事録における委員につきましては、皆様の個人名は記載せず、委員という形で表記をさせていただくことよろしいでしょうか。</p> <p>(委員了承)</p> <p>本日の傍聴人はおりません。</p> <p>この会議は八王子市保健医療計画推進会議開催要項第5条第2項の規定により、健康医療部長を座長とし、進行いたします。</p>

2 議事	
(1)「第4期八王子市保健医療計画」の施策体系(案)について	
発言者	内容
座長	議事の1、第4期八王子市保健医療計画に係る施策体系案について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>資料2を御覧ください。まず東京都の計画との関係性になります。従前の会議において、国の動きについては、随時ご報告をさせていただいたところです。なかなか東京都の状況が見えてこなかった部分がありましたが、ここで東京都の方も、東京都健康増進計画の骨子案ということで、東京都のホームページに掲載されました。</p> <p>なお、そちらの中で、各分野の目標と取組案も同時に公開されています。ただし、目標と取組案につきましては、東京都が三つの部会に分かれて計画を策定していることから、第3部会の資料のみが閲覧可能な状態になっております。</p> <p>第3部会が所掌しております範囲に限定されますが、推進の主体として、区市町村がどういったものに取り組んでいかなければならないといったことが記されております。そちらについて一部ですがお知らせをさせていただきます。</p> <p>例えば生活機能の維持・向上という分野に関して、身体健康面につきましては、ロコモティブシンドロームの予防に効果的な運動等について、普及啓発を行うことが示されております。また、社会環境の質の向上という分野において、その中で社会とのつながり、心の健康の維持・向上というような部分については、社会とのつながりの醸成、鬱傾向の方や不安の強い方に対して、周囲の人が支援しやすくなるような専門機関等との連携を図り、相談体制やネットワークを充実させるような取組をしていくことが示されています。今後、第1部会、第2部会の情報についても公開されてくると思いますので、そちらの動向も注意しながら、取組に反映させていければと考えております。</p> <p>参考に東京都のホームページのURLを標記させていただきましたので、御確認いただければと思います。なお、会議開催の直前に東京都のホームページを確認したところ、第2部会の情報が更新されていました。第1部会の情報についても今後更新されていくと思われます。</p> <p>スライド3でございますが、第4期八王子市保健医療計画のコンセプトを図式化したものになります。一番下に施策の実施として、今まで委員の皆様にもいろいろご意見をいただいていた部分を、その分野ごとに分けたものとなります。</p> <p>まず視点1の基本目標1としては、主に健康増進の分野の取組になってまいります。疾病を発症させないためや、疾病の重症化をさせないための、八つの施策を展開していきます。続きまして、視点1の基本目標2としては、保健所機能の充実を図るという部分で、公衆衛生の向上などの観点、それから市民の健康の保持・増進のため、四つの施策を展開していきます。</p> <p>続いて右側になりますが、視点2としては、基本目標の1、2、3いずれも医療体制に関する内容になっております。万が一健康を損なってしまった時に、健康回復に向けた医療支援等を実施するための体制を整備することを目的とした九つの施策を展開していきます。これらの施策を行うことで、健康づくりの主体となり得る個人、地域医療機関の方や企業等が連携しながら、共に健康寿命の延伸、健康格差の縮小を目指す</p>

せる計画をイメージしているという図式になっています。

例を挙げますと、歩きたくなる歩行環境の整備をすることで、個人の方の運動習慣が身に付いたと想定した時に、今まで習慣がなかった方に習慣が身に付くことで、健康寿命の延伸、健康格差の縮小の一助となり得るというイメージです。

それから、地域づくりを支える人材の育成といった取組を行った結果、地域の人々の中のつながりが生まれ、その生まれたつながりの中で団体活動等を通して個人の行動が変わったといったことであれば、地域の人々のつながりから、個人の行動の変容、行動の改善に繋がり、健康寿命の延伸、健康格差の縮小の一助となり得るというイメージです。

一つひとつで健康寿命の延伸、健康格差の縮小というものになるのではなく、三つの緑で表しているものが連携することで、よりその効果が高まるのではないかとこのものを図式化したものになります。

続きまして、スライドの4です。こちらが今回八王子市保健医療計画のイメージを真ん中に置き、左側が八王子未来デザイン2040に掲げる目標、右側が国の健康増進計画や、医療計画の方向性を示したものになります。それぞれの計画、上位計画が八王子市の保健医療計画に対してどう関与しているのかということを図式化したものになります。視点1-1、一番上の部分ですが、こちらについては主に、健康づくりに関する分野の内容ですので、右側の国の計画で行くところの、健康日本21(第3次)のそれぞれの取組が全てここに当てはまっています。一方で下の医療計画に関する内容につきましては、視点2の三つの基本目標1、2、3に関連してきます。左側の市のマスタープランであります八王子未来デザイン2040の目標については、全てに関連してくるといったことを示した体系になっております。

スライドの5からは具体的に次期計画の施策案についてお示したものになります。こちらについては、保健の視点である視点1について、基本目標1を健康増進に関するものとし、生活習慣の改善と生活機能の維持・向上、続いて生活習慣病の発症と重症化の予防、それから将来にわたる口腔の健康づくりの推進、がん予防と早期発見、地域につながる健康づくりの推進、心の健康づくりと自殺対策の推進、健康になれるまちづくりの推進、生涯にわたる女性の健康づくりの推進の8個の施策案を想定しております。この施策案については、主に健康日本21第3次の内容をベースに策定したものといたします。

続きまして、基本目標2につきましては、保健所機能に関するものとして、安心・安全な衛生環境づくり、薬の安全、薬物乱用防止対策、家庭用品の安全確保、感染症予防と対応、人と動物が共生するまちづくりの推進の4個を施策案として想定しております。こちらの表に書かせていただいている施策案のうち、赤書きの内容については、新たに設定するものまたは第3期、現行の計画から変更が生じた内容となります。また、印の表示があるものにつきましては、重点施策として想定しているものとなります。

続きまして、スライド6をお願いします。こちらが第3期八王子市保健医療計画における施策と、第4期八王子市保健医療計画における施策案とを対比した一覧となっております。こちらはそれぞれ色で、どう推移をしたかを表しております。まず、変更の理由も含めてご説明をさせていただきます。生活習慣の改善と生活機能の維持・向上という部分に関しましては、健康寿命の延伸に向けまして、個人の行動と健

康状態の改善ということが重要であります。そのため生活習慣の改善等による生活習慣病の予防に加え、生活機能の維持・向上の観点も踏まえた取組の推進が求められていることから、施策の呼称を変更したいと考えております。

それから、呼称を変更すると共に、市民意識調査の結果でも、新型コロナウイルスの感染症の影響が、生活習慣に与えた部分が結構大きかったところもありますので、生活習慣病の発症と重症化の予防についても、当然大切なことではあります。それらにつながる原因となり得る生活習慣の改善という部分に重点を置くべきだと捉えまして、生活習慣の改善と生活機能の維持・向上を重点施策に位置付けたいと考えております。それと併せて第3期計画では、重点施策に位置付けておりました生活習慣病の発症と、重症化の予防については、重点施策には位置付けないという方向で考えていきたいと思っております。

続きまして、地域につながる健康づくりの推進という部分ですが、社会的なつながりを持つということは、精神的健康・身体的健康・生活習慣・死亡リスクなどに良い影響を与えと言われております。地域とのつながりが豊かな人は、様々な人々と交流する機会や、社会活動に参加するなどのきっかけがあることから、健康状態が良いとも言われております。市民意識調査において、健康のために必要なこととして、隣近所からの声掛けや、見守りの必要性についておうかがいしたところ、あまり必要でない、必要でないという回答が実は65%以上あったというのが本市の状況です。そこに加えて、新型コロナウイルス感染症の影響で、健康面での変化についておうかがいしたところ、他人との会話の機会が減少したとの回答が49%にも上る状況であったことから、こちらについては継続して、重点施策として位置付けたいと考えております。なお、関連計画でもあります地域福祉計画におけるテーマがつながりということもありますので、そこも整合性を取るというようなところで、施策の呼称も一部変更していきたいと考えております。

続いて、心の健康づくりと自殺対策の推進でございます。こちらについては生活機能の維持には心の健康の保持が重要な要素の一つであります。栄養や食生活、身体活動や運動・睡眠・飲酒・喫煙という部分につきましては、鬱病ですとか不安障害との関連が明らかになっていると言われております。喫煙率が高くなったり、肥満が増えてしまうと、健康的な生活習慣が妨げられる因子となることが想定されます。こちらについても市民意識調査で、約7割の方がストレスを大いに感じた、多少感じた、との回答をしていることから、重点施策として位置付けたいと考えております。また、ストレスや各種の悩みにつきましては、自殺の背景となり得ることから、心の健康づくりと一体的に自殺対策という部分も必要になってくると捉えております。第3期八王子市保健医療計画において設定されております心の健康づくりと、自殺対策の推進の二つの施策を統合し、施策の名称を変更していきたいと考えております。なお、自殺対策の具体的な取組につきましては、個別計画として自殺対策計画の方で定めていきたいと考えております。

続きまして、健康になれるまちづくりでございます。健康寿命の延伸には、自ら健康づくりに積極的に取り組む方だけではなく、健康に関心の薄い方々を含む幅広い方々に対しアプローチを行っていくことが必要になってまいります。そのため、本人が無理なく自然な健康的な行動を取ることができるよう環境整備を行うことが求められているのかなと考えております。身体活動、運動の向上には、住民が身体活動に取り



	<p>要になってくるのかなと思います。その背景としては、新型コロナウイルス感染症の関係もあり、今まで適正な生活習慣が身につけていた方であっても、コロナのいろいろな制限の中で、運動する機会が減ってしまったりとか、ストレスをため込んでしまったりといったことで、生活習慣が変わってしまった。という方が一定数存在することが見込まれます。</p> <p>そのため、「生活習慣の改善と生活機能の維持、向上」を重点施策とするといったように、時代の流れと言うか、その時々状況や市民意識調査結果も踏まえつつ、何が大切なのかというところを捉え名称を変更したり、重点施策の重点の部分置き換えたりといったことをしての提案という形になります。</p> <p>ただ、ここで挙げさせていただいている施策案については、全て大事なことです。</p>
座長	<p>要はより予防とか、地域とのつながりとか、上流と言いますかね。下流ではなくて、より上流の方に重きを置く。それぞれの人が多様化しているから、そのようなことであるということなのだと思うのですが、その代わり多少フワッとすると思うので、指標とかきちんとかやらないと、リスクのことよりも、はっきり答えが出づらくなりますね。</p>
事務局	<p>特にこちらの視点1の基本目標に関しては、いろいろなデータをしっかりと分析をしながら、事業を展開していく必要があると考えます。</p>
座長	<p>要はリスクだけではなくて、オペレーション側で、今まで何とかの醸成みたいなことを言っていたものが、きちんと数字でも評価できるようになってきているし、そういうところをよりちゃんとやっていけそうであり、データが取れるようになってきたということですね。</p>
委員	<p>視点1の4 - 2ですが、生涯にわたる女性の健康づくりの推進とか、健康になれるまちづくりの推進とありますが、具体的なことを申し上げたいと思います。子どもの遊び場のあるような公園に、大人が筋トレやストレッチができるような道具がほしい、ぶら下がり棒みたいなものでもいいですし、一層お年寄りたちが健康になれるのではないかと思います。</p>
座長	<p>確かそういう取組はやっていましたよね。今回は中に位置付けていこうとは思いますが、おっしゃるような意見は確かに議会とかでも出ているし、健康器具的なもののある公園をいくつか整備していく方向があるようなので。</p>
委員	<p>それも大きいのが一つあるのではなく、たくさんところにほしい。年寄りはいくら歩けないですから。すぐ行けるところにほしいです。</p>
座長	<p>今進めているものを含めて、方向性はまちがっていないはずですよ。</p>
委員	<p>しかも明るいところにほしいです。暗い隅っこに年寄りのものを置かないように、明るい安全な場所に置いてほしいと思います。</p>

座長	<p>実はこの会議以外に庁内の連携会議があり、おっしゃるような部門と意見交換をする場もあるので、意味のない指標を立てては意味がないので、そういうところにもどうということなら約束できるかも含めながら、反映できるように事務局が汗をかく予定です。</p>
委員	<p>疑問点ですが、視点1の紫色の部分です。妊婦期からの切れ目のない支援の充実と言うと、女性の健康づくりと女性特有の疾病予防に対する支援につき、第4期においては生涯にわたる女性の健康づくりの増進となっておりますが、今、男女平等だとか、SDGsといったことが叫ばれている中で、女性の健康づくりの推進だけで違和感はないのかなと思います。第3期では、妊婦の時とか、女性特有の疾病、とあるので、女性と入っていてもそれほど違和感はないのか。第4期だと生涯にわたる“女性”の健康づくりの推進となっているので、生涯にわたる“男性”の健康づくりの推進というのはなくてもよいのか、見た方が思わないのかなと疑問に思いました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。委員がおっしゃる通り、男性の健康づくりはどうなのかという疑問を持たれるリスクはあるとは思いますが。一方で国がライフコースに関して、三つの項目で、お子さんの分野、高齢者の分野、それから女性の分野という形で3点切り出しをしています。ライフコースのイメージを表現したく表記した状況です。ただ、委員からもご質問をいただいたような、疑義を持たれる可能性がございますので、表現については再考させていただいて、誤解のない表現にしていければと考えております。</p>
座長	<p>男女共同参画の方で今進めているところとも、ちょっとその辺で表現の調整とか、合理的な配慮というか、そういう意味でそれがはまるのか、もう少し違う表現にした方がいいのか、調整をしてもらえればと思います。</p> <p>他に御意見などありませんか</p> <p>(なし)</p>

(2)「第4期八王子市保健医療計画」の取組(案)及び評価指標(案)について

発言者	内容
事務局	<p>スライド9については、先ほど申し上げた施策案に紐付いている取組に関する案をお示しさせていただいています。まずは視点1「いつまでも元気で健康的な生活を送るために」という分野になってまいります。こちらについては、「健康のためにこころと身体にいいことをしている市民の割合」というところを成果指標にしたいと考えております。その上でまず基本目標1「ライフステージや環境の特性(ライフコース)に合わせた健康づくりの推進」に対して、どのような取組をしていくかという点ですが、先ほど座長からもご質問をいただいた際にお話をさせていただいたのですが、基本目標1についての取組については、全体を通していろいろなデータが見れるようになってきているというところで、こちらの取組を行う上でまず関連所管の皆様には、そういったデータの利活用というところを念頭に置き、事業を進めていければとは考えております。</p>

す。

データの利活用については、どこの施策に入るのかを検討しましたが、全てに当てはまってまいりますので、あえてその施策案や取組の中にそういった文言は現在使っておりません。事業を進めるうえでデータの利活用を前提とする旨を計画の中で表現していくことを現在考えております。

それでは、中身の方に入らせていただきます。こちらについては、それぞれの施策に紐づく取組案になっております。かなり取組の数が多いので、新たに設定することを想定しているものや、第3期八王子市保健医療計画から変更があったものについてご説明をさせていただきます。

まず指標ですが、本市の上位計画との関連性を持たせた形での目標指標ということで八王子未来デザイン2040に掲載されている指標を用いるパターン、第3期八王子市保健医療計画より継続している指標を用いるパターン、健康日本21(第3次)にて新たに設定されている指標を用いるパターンなどいずれも経年比較が可能な指標を設定していきたいと考えております。

施策 「生活習慣の改善と生活機能の維持・向上」という施策にぶら下がってくる取組や指標案についてお話をさせていただきます。まず成果の指標としては、同じように「健康の維持・増進を心掛けている市民の割合」というところで、こちら食事・運動・休養という部分に関して、心掛けている方の割合を成果の指標としていきたいと考えております。まず、「身体活動の促進と運動習慣の普及啓発」という部分が今回変更して、新たに取組んでいくことを想定しておりますが、こちらについては第3期の保健医療計画では、運動習慣の普及といった形の取組を設定させていただいておりました。第4期では、意図的な運動に限定せず、無意識に行われる生活活動を含めた運動の普及啓発という観点から、取組の名称を変更したいと考えております。運動については、自分から意識的に体を動かすという運動の部分と、日常生活で例えば仕事に行く時に歩くようにするとか、そういった日常の行動の中での体を動かすという部分の二つを合わせて身体活動という形になりますので、無意識のうちに運動をするという部分を強化できればという部分も含めて、名称を変更していきたいと考えております。

続きまして、「フレイルの予防」については、第3期八王子市保健医療計画において高齢期の健康づくりの推進、介護予防の推進という取組で設定されておりましたが、こちらについては第4期計画においては、新型コロナウイルス感染症の影響から、幅広い年代において活動量の低下という部分が見られることがございますので、高齢期に限定しないフレイル予防を行うという観点から、取組の呼称を変更したいと考えております。こちらについては国や東京都については、フレイル予防という表現ではなくて、ロコモティブシンドロームという表現になっていますが、フレイルという表現で取組を設定していきたいと考えております。

続いてその下の段で「骨粗鬆症予防の普及啓発」という部分になります。第4期計画では無症状の段階で骨粗鬆症、及びその予備軍を発見し、早期に介入することで未治療の骨粗鬆症患者の治療介入を促し、骨粗鬆症性の骨折患者の減少といったものを行っていきたいと考えております。このことから、新たに「骨粗鬆症予防の普及啓発」というような形の取組を新たに行っていきたいと考えております。

それから、生活機能の維持・向上を図る上で、自身の健康状態に関心を持つこと、

また健康であるために何が必要かという、当然知識の習得が不可欠になってまいりますので、「自らの健康状態の把握と生涯にわたる健康への関心向上、知識取得の促進」といった名称で新たな取組に加えたいと考えております。

スライド10については同じく視点1の基本目標1が引き続きという形になります。ここで新規になる内容というのが、「地域につながる健康づくりの促進」といった施策で、団体や事業者との連携による事業の活性化という部分になります。健康づくりの実施主体につきましては、個人や地域だけではなく、団体や企業の皆様もなり得ることになります。その点からもそれぞれの連携を図りまして、おのこの強みを生かすことで効果的な事業展開が期待できること、それから、前回の会議で委員からもご意見をいただきましたが、職域連携といった観点からも、事業者などとの連携強化というのは重要であり、団体・事業者との連携による事業の活性化を新たな取組に加えたいと考えております。施策「生涯にわたる歯・口腔の健康づくりの推進」の指標については、「年1回以上歯科検診を受診している者の割合」、それから、「3歳児の虫歯のない者の割合」ということで、前回の計画で未達成となっている項目につきまして、引き続き指標にして目標に向かって進んでいきたいと考えております。

それから、がん予防等につきましては、「健康の維持・増進を心掛けている市民の割合」というところで、各種健診の受診状況を成果の指標としていきたいと考えております。

続きまして、スライド11については、二つともかなり新規・変更の内容が入っている部分となります。まず「健康になれるまちづくりの推進」ですが、こちらにつきましては、市民意識調査において健康のために必要なこととして、運動ができる場所の充実が必要である、まあ必要である、との回答が83%以上ございました。健康日本21第3次においても、まちづくりの視点からの健康づくりが標記されていることから、歩きたくなる歩行環境、歩行コースづくり。さらにハード面の整備と合わせた取組として、ウォーキング活動などの推進ですとか、ナッジ理論を活用した公共施設等における表示サインの設置推進を設定したいと考えております。指標案としては、「居心地が良く歩きたくなるまちと感じている市民の割合」、それから、「健康の維持・増進を心掛けている市民の割合」、こちらについては運動分野に限定した内容のものを指標案としております。

続きまして、こちらの施策については、今後検討が必要となるようになってきますが、こちらについては変更として、「女性の適正体重の維持や健康づくりに関する普及啓発」という取組になります。市民意識調査の結果から、BMIが18.5未満のいわゆる低体重の女性の割合が11.4%、男性と比べると2.5倍となっています。それに加えて、健康日本21第3次における指標の一つに女性の痩せを減らすことが挙げられております。そのため八王子市第3期保健医療計画において設定していました女性の健康づくりに関する普及啓発を、女性の適正体重の維持や健康づくりに関する普及啓発と呼称を変更していきたいと考えております。また、生涯にわたる女性の健康を考える際に、性に関する問題という部分は切り離せない内容であることなどから、大変デリケートな部分ではあるのですが、第4期計画では生涯にわたる性と健康に関する支援といったものを、新たな取組に加えたいと考えております。

続いてスライド12については、視点1、基本目標2、主に保健所の機能の部分になります。こちらについては、指標としては安心・安全な衛生環境づくりという部分で

は、「食中毒の発生件数」とか、「特定小規模貯水槽水道施設の報告書提出率」といったものが実際に実績として毎年挙がってきますので、このあたりの数値を指標としていきたいと考えております。こちらの取組に関しては、大きな変更はございません。

続いて「薬の安全、薬物乱用防止対策、家庭用品の安全確保」という部分につきましては、新たに薬物乱用防止サポーター数、サポーターを増やしていきたいという部分もありますので、そのあたりのサポーター数の実績を評価に加えていきたいと考えております。こちらの取組については、大きな変更はございません。

続いて「感染症の予防と対応」という点になりますが、こちらについては2点、変更・新規という部分がございます。まず感染症の予防と対応に紐づく取組ですが、新型コロナウイルス感染症の流行時の経験を踏まえ、今後いつ発生するか分からない新興感染症等の流行に備えた取組を実施するために、新型インフルエンザ等の新興感染症に係る健康管理体制の整備という部分と、鳥インフルエンザ等の動物由来の感染症に係る健康、危機管理体制の整備というものを設定したいと考えております。ただ、こちらにつきましては、一応今二つに分けた形で取組案をお示しさせていただいていますが、こちらは統合してもいいのではないかとという声もございますので、こちらについては再度検討を進めていきたいと考えているところです。

スライド13につきましては、視点2になります。主に医療体制の分野になってまいります。「住み慣れた地域で安心して医療を受けられるために」という形です。視点2についての成果目標については、「安心して医療を受けられるまちと感じている市民の割合」というものを指標としていきたいと考えております。こちらについては、特に取組に関して大きな変更があるという部分に関しては、一番下の「医療人材の確保・育成」という施策に紐づく取組になります。こちらにつきましては、第3期八王子市保健医療計画において看護人材の育成・確保という取組を行ってまいりました。第4期につきましては、看護人材に限定のない人材を育成と確保といったところを推進していきたいと考えておりますので、「看護」を取りまして、人材の育成と確保といった形の名称・呼称にしていきたいと考えております。こちらにつきましても、実績等については未来デザイン2040に記載の指標ですとか、第3期の八王子市保健医療計画より継続している指標というものをを用いていきたいと考えております。

続きまして視点2、基本目標2の部分です。こちらにつきましても、「災害時の医療体制の充実」という施策に紐づく取組の部分で、新たに設定したい内容が2点ございます。こちらにつきましては、先ほどの感染症対策の部分と同じですが、やはり今回の新型コロナウイルス感染症の経験を生かして、災害時における体制の整備、例えば今回新型コロナウイルス感染症の流行時に台風が来たり、そういった自然災害が生じた時に、より安全に避難行動を取っていただけるような体制の準備というところで取り組んでいきたいということで、新たに設定をさせていただいております。これらの取組につきましては、現在関連所管に対して調査を同時に行っております。先ほど感染症のところ、危機管理体制の部分で変更が生じるかもしれませんというお話をさせていただいたのですが、今後回答が所管の調査の結果によって、一部表現の見直しなどが生じる場合がありますので、そちらについてはご了承いただければと思います。

最後にスライド15ですが、こちらについては特に大きな変化はございません。引き続き第3期の計画を設定した指標ですとか取組について進めていきたいと考えているところです。ただし最後、「地域包括ケアシステムの推進」という施策に対しての

	<p>指標については、地域福祉計画が同時に今策定中ですので、そちらの計画での指標等を共有しながら、連携した展開をしていきたいと考えております。以上です。</p>
座長	<p>ありがとうございました。結構ボリュームがある内容でしたので、ご意見があろうかと思いますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>スライド10の「生涯にわたる歯・口腔の健康づくりの推進」の指標案ですが、意識調査と3歳児の虫歯の割合の実績だけで測ると、なかなか見えてこない面があるのではないかと考えます。実際に今八王子市で年齢を区切った歯科検診があるので、むしろ健診の受診率の実績で見えていった方が、よほど指標として活用できるし、よく分かるのではないかと考えますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。そういった指標も含めて検討させていただきたいと思えます。</p>
座長	<p>これは健診だけではなく、医療費とかそちらの方を混ぜて評価することも場合によってはできると思いますがどうでしょうか。</p>
委員	<p>医療費でもいいと思います。3歳児の虫歯の割合を見ても、あまり生涯にわたる歯・口腔の健康づくりというのは、どういう論理でやっているのか、歯科医療従事者としては分かりづらいところがあります。健診を生涯にわたって進めていって、そこで見ていく方がはっきりすると思います。今実際に行われている健診があるので、それを利用した方がよほど分かるのではないかという意見です。</p>
座長	<p>事務局、参考にしてください。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
座長	<p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>同じスライド10です。先ほど事務局からも話が若干出たところですが、市民意識調査の地域活動をしていないという人の割合というのはかなり多いです。実際問題、私もこれを見て、こんな状態なのかという感じがしました。市民意識調査の57ページにあったのですが、それを先ほど事務局の方もおっしゃったのですが、私など地域で生活している立場から、実際に同じようなことを感じています。例えば自治会なり老人会なり、あるいは他の地域のイベントなりに参加してくれる人というのは、年々難しくなるのではないかと思います。自治会などでも役員のなり手がいないとか、あるいは自治会になかなか入ってくれなくて、退会もして行って、どんどんじり貧になっていくと言うか、そういうのを非常に強く感じています。その何か一つはこの中で指標として、「地域コミュニティ活動に参加している市民の割合」をこの指標として追跡していくことだと思います。こういったものは他の市町村でもそうなのかもしれませんが、何かないのかなということ、非常に暗澹たる気持ちでいつも考えているのですがど</p>

<p>事務局</p>	<p>うなのでしょうか。</p> <p>地域での活動ですが、委員がおっしゃる通り、非常に各自治体においてどこでも課題感が高い部分ではあります。全体の計画である2040の中でも、地域づくりというところを一番大きな課題に挙げて、そこでつながりを作っていくということで、今様々なところの動きに向かっているということです。この保健医療計画の中でも、その地域づくりに参加していただくことが健康づくりにつながるということを指標の中でやっていくために、何とか他の所管で活動を進めている施策・事業などとも連携しながら、地域の活性化を図っていききたいなと思います。それは必ずしも町会・自治会ではなく、今、市の方では地域づくり推進会議みたいなものを中学校区ごとに立ち上げてみたい動きをしておりますので、そういった流れの中にぜひ健康づくりの視点も取り入れていただければと考えているところです。</p>
<p>委員</p>	<p>すこし長くなりますが、人がなかなか集まらないという話から、本日まとめて話をさせていただきたいと思います。自然発生的に集まって毎朝ラジオ体操をしております。月曜日から土曜日まで、6時半には必ず人が集まります。ラジオ体操の他に、私の拙い指導の下に、会館をお借りしてきくち体操というものが週1回行っています。メンバーは異なりますが、どちらも14人くらいです。そもそも私がこんなことを始めたきっかけは、地域の人楽しく、元気に暮らしてほしいと思う一心で活動しています。活動していることはボランティアですが、やはり費用は掛かります。会館の使用料、おしゃべりが弾むためには、たまにはお茶とかお菓子とかフルーツなどが持ち出しになります。会館使用料は参加者が出し合っているところです。</p> <p>今朝のことですが、仲間に入って1か月の方、あまりに体が軽くなったので、キッチンの換気扇掃除に励んでしまいました。首を上げる仕事で、首から背骨があまりにも痛くなって、1週間ほど休まねばならなくなり、今朝はようやく痛みが軽くなったので出てきました。仲間の顔が見たくて、おしゃべりがしたくて、80歳の一人暮らしの女性です。もう一人、ラジオ体操に通って12年になる一人暮らしの90歳の男性がいます。最近安心センターのお世話になっている方ですが、やはりみんなの顔が見たい、おしゃべりがしたいということで、聞いているだけでもうれしい。帰りは自宅まで送ってあげるような状態ですが、出てきてくれることがやっぱり大切だなってすごく感じております。</p> <p>このような活動は、八王子の中にあちらこちらにあるのだと思います。近所にもラジオ体操を行っているグループがあります。このように草の根的に集まっている会に対し、少しのお茶代なども支援していただける方策があれば教えていただきたいと思います。また、支援のシステムがあれば、自分も草の根になって良いと思う人がきっと現れるのではないかなと思います。</p> <p>余計なことですが、ラジオ体操の会が10月28日に表彰を受けることになりました。神社の周辺の清掃を毎朝行っています。環境美化、明るく住みよいまちづくりに尽くしたことで表彰していただけたということです。みんなで喜びを噛みしめ合っているところです。以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>6 - 2の取組みの視点1の基本目標1、10ページ。「自殺対策の推進」ということで、</p>

<p>副座長</p>	<p>自殺の原因として昔から多かったのは病気を苦しめたものです。結局末期になって、明日も分からないから自殺をするというのが1位でした。2位が借金とか金銭的な問題、最後が人間関係といったように細かく分かれています。今テレビで例えば芸能人が自殺すると、すぐにテロップが流れますよね。この番号に悩みがある人は掛けてくれというのがありますが、八王子市としてやっている自殺対策をは、どんなことがあるのでしょうか。</p> <p>自殺率につきましてはコロナが始まって2年目が全国的に上がってしまいました。その翌年は全国的にも東京都も割と落ち着く方向性があったのですが、八王子に関しては3年目もまた上がってしまっているという、実はかなりゆゆしき問題になっていて、全庁的にこの自殺対策には取り組もうということで、かなり今年についても積極的な取り組みを始めているところです。一つは市内に大学がたくさんありますので、大学と連携して大学コンソーシアムという組織で、若者にどうしたら我々行政が考えているような取組みが伝わるのかということについて、大学の授業の一環として取り上げていただいて、ご意見をいただいたりしています。その意見を取り入れた形で、事業化はしていないのですが、若者に届きやすいような、東京都がやっているものもありますし、市がやっているものもあります。テレビのテロップで出るのは、いのちの電話とかですが、最近若者の自殺が増えている中では、電話することのハードルが非常に高い若者が多い。若い時からSNSとかLINEとかそういったものでしか人とコミュニケーションをしないという年代が増えている。電話ではハードルが高すぎるということで、24時間SNS、あるいはLINEで相談ができるような取組みを今東京都のやり方を見て八王子でも行っています。また、検索広告というのがありますが、八王子市内で「死ぬ方法」とか、キーワードとなっているもので検索を掛けると、すぐそういったページに飛ぶような検索連動型広告というのがあります。そういったものをやってみたり、3月と9月が自殺予防月間なのですが、そこも広報で取組みをしたりといったことで取組み始めていますが、なかなかその効果が実際には見えにくいところですね。しっかりやっていきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>6-1の取組み、視点1-1の基本目標ですが、自らの健康状態の把握と、生涯にわたる健康への関心向上、知識習得の促進というところにおいて、薬剤師会としてはまず介護系の対策として、高齢者に対する介護予防事業として、通所Cという対策がされています。これは高齢者に対するコーチングです。高齢者の取組みを促して、介護予防を進めていくという事業がなされているわけなのです。医療に置き換えた場合に、これを利用して他世代の市民に対してもコーチングを活用した生活習慣の改善と、生活機能の維持・向上は可能ではないかと考えております。その場合の問題となるのが、コーチングを実施する専門職の確保と相談場所となるのですが、これを解決するためには、地域の薬局、及び薬剤師の活用をしていただければと考えております。これは一つの提案です。</p> <p>それから 薬物乱用に関しては現在若い世代において、OTCによる薬物乱用というのが非常に大きな問題となっています。薬剤師会としては、学校薬剤師会という分科会において、小学校・中学校において薬物乱用に係る授業を実施していますが、なかなかOTCによる薬物乱用まで話が持っていけてないというのが現状です。これを</p>

	<p>もう少しパワーアップして、事業を進めさせていただければと考えております。</p> <p>それから3点目、地域包括ケアシステムの連携というところで、地域包括ケアシステムに関しては、24時間在宅対応の可能な薬局というのが、なかなか確保できていないのが現状ですが、こちらを薬剤師会としては、力を入れて推進していきたいと考えております。</p>
<p>座長</p>	<p>介護系は地域福祉計画の方とも場合によっては共通の指標と言うか、共通の取組みが両方に載ったりしてもいいと思います。その辺の連絡・調整はされているということなので、かぶる部分は、介護予防と保健事業は同じことをうたったりするので、その辺は整合を取ってもらえればと思います。最後の24時間薬局の話とかも、うちとして取組みとしてどういうものができるのかということについて、事務局でもこういうものを載せていけるのかどうかも含めて検討してもらえればと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>スライド15の7-3ですが、で障害等の療養体制の整備の指標案に、訪問歯科医照会件数実績とありますが、おそらくこれはその下のの地域包括ケアシステム推進の方に入れた方がいいと思います。それと在宅医療というイメージだと、どうしても内科的な医療のことを皆さん想定すると思います。在宅の方も歯科医療というのは今言っているように八王子市でも取り組んでいるわけで、在宅の歯科医療の照会、訪問をやっているのだということがなかなかまだ市民の方々にも周知されていないし、その重要性も分かっていないということがあると思われまので、在宅医療体制の充実に含まれるのしょうけれども、在宅歯科医療の充実という文言も入れていただいた方がいいのではないかと思います。</p>
<p>座長</p>	<p>これは口腔保健支援センターと絡むのですか。これはこれで指標として設定できるものであればということでもいいですか。事務局で検討させていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>ご説明をいただいたのを自分なりにメモしているのですが、予防というカテゴリーと治療というところがあって、説明をいただくことでようやく理解ができるというのが正直な感想です。ここに来なければ多分冊子を渡されたとして、ああ、そうなんだという感じなのかなという思いがまずありました。指標とかに対して、あれこれ述べるほど何か意見はなかなか持ち合わせていないのですが、私は立場が小学生の保護者であるということで、どうしても健康関連が自分と自分の親世代のことになりがちで、では子どものことってどうかなという考え方で見るように心掛けなければいけないなと思っています。先ほどの虫歯のことなども、私は保護者ですが、やたらこの学校は多いと毎回言われます。それをどう改善していいのかというアプローチは大体なされていないです。学校便りにも出ていないですし、保健の先生が少し書いてくれるぐらいで、知らないまま毎回同じところを繰り返しチェックしているという状況になっているのが実情だと思います。</p> <p>昨日私、子どもたちの放課後の居場所づくりの行政の会議に出席しました。またそこでも地域づくりの話になりました。結局のところ草の根活動って、これを知っている人たちをどれだけ増やしていくのか、裾野をどれだけ広げていけるかだと思います。また別の地域づくりの会議の中では、トップダウンみたいな感じで、こういったことを</p>

	<p>決めていきましょうねという知識の長けている方々がお話をして、さあ、決まりましたからとやったところで、主体的に魅力があるなと思って近寄ってくる人はほぼいないです。地域づくりの話ですが、そういうお話を聞いた時に、その通りだな、なかなか偏りがあって、いつも関係している人が一緒だというのはその通りだなと思います。では、どうすればいいのかというと、私なりに咀嚼して腑に落ちたのは、もう私は事業者なのだと、ターゲットはお客さんなのだと。その人たちが本能的に近寄りたくなるような施策をもってすれば、もしかしたら先ほどのお茶代を出すとか、目先のこともかもしれませんが、それをキャンペーンで今やるからやってみてという方が、実績としてはつながりやすいのではないかなと思う部分もありました。</p>
座長	<p>我々地域通貨にもこの10月から取り組むことになっているのですが、健康活動とか、ボランティア活動とかに参加されたらポイントを出しますよという制度です。今「てくポ」は企業から広告を取って、そこを原資にしています。最近分かってきたことは、「てくポ」に取り組んでいる人と、それから全体の医療費、国保と後期高齢者の医療費の1人あたりを比較した時に、かなり面白いデータで、入院が全体に比べて「てくポ」の人が低いのは当たり前なのですが、通院も当然そうです。なぜか歯科だけは「てくポ」をやっている方の方が多いです。考えてみると、健診みたいなことが歯科では受けられますし、やはり活動的な人は歯科に行っちゃちゃんと見てもらって、フレイルとか全身の健康につながるという話がありますが、歯科の方では使っていて、薬剤は「てくポ」に参加している人の方が低いんですね。これ1人あたりの医療費で見えますが、そういう活動をする、そうじゃない方に比べて、医療費とか介護予防費が有意に低いというのが分かれば、そういうものを原資にして、ポイントにして返す。それが先程のお茶代とかにも自然につながっていく。今、「てくポ」は実際に歩いたり、ボランティアに参加するとポイントが入って、PayPayとして使うこともできます。今のところあれは実験的な取り組みですが、そういうことをより進めていくと、原資の部分が多少出てきたり、意識せずに自然にそういうふう健康につながる部分と、その部分で医療費が改善された部分が還元されてクルクルと回るので、一つの例ですがこういったことが続くといいのではないかと考えています。</p>
委員	それはスマホに連動しているのですか。
座長	今はスマホです。前はポイント手帳というはんこを押すものでした。
委員	スマホを年寄りには持って歩かないですよ。重いんですよ。家にいて電話では使いますが、持ち歩くというのはほとんどやらないです。
座長	その辺もこれから変えていかなければいけない部分です。あまり専門的な答えをするのもあれですが、実は私、腕時計でApple Watchをしています。スマホを持ってなくても歩くところにデータは飛ぶんです。そういうことも含めて、今相談窓口とか、ワクチンの時もそうでしたが、そういうのをセットしてあげて、自然にそういうものを使えるようにするみたいなことも、そういう方がどういうふう貯めるようになるかも、取り組みの一つになってくると思います。意識せずにそういうことが還元できる

<p>委員</p>	<p>ようにというのは、一つの施策になってくると思います。まさに今のテーマですけれども、事務局としても我々もこれは庁内を挙げて考えているところですので、取り組んでみたいと思っています。他にいかがでしょうか。</p> <p>11ページの6 - 3の健康になれるまちづくりの推進ですが、実はこれ5年ほど前の会議だと思いますが、健康政策課の方、要するに事務局の方からこういうのをもらったんですね。ウォーキングマップです。そのキャッチフレーズに、「ちょっと実行、ずっと健康」というものがあるのですが、非常にいいキャッチフレーズだなということで、地域で例えば自治会ニュースなんかを発行して、それで近場のどこかをいい陽気だから歩いてみましようとか、そういった呼び掛けの記事などを作る時に、今のちょっと実行、ずっと健康というのを使ってきました。今日の資料を見ると、新規で歩きたくなる歩行環境、歩行コースづくりとか、ウォーキング活動の推進とか新規でということですが、今はこのキャッチフレーズは消えてしまったのでしょうか。このキャッチフレーズは非常にいいなと思って、律儀に使ってきたのです。今、事務局の方なのか、役所の名前も変わって、今は健康政策課じゃないのかもしれないのですが、その人たちにとっては、何か笑ってしまうような死語になっているのか。私はずっと使ってきたのですが、こういうのはどうなっているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>実際にウォーキングマップはまだ活用しております。今年度につきましては、もう少し距離を短くしたショートコース版の作成を予定しています。ここで新規という形にさせていただいている部分については、特に現行の計画の中でウォーキングについてのことを切り出して考えていなかったというところで、コロナの時に人との接触ができないというところで、ウォーキングマップの需要はすごく多くなりました。そういったところも含めて、あえて切り出しているというところでの新規という形とご理解をいただければと思います。</p> <p>国の計画の中で、まちづくりの観点から、市の都市計画の分野での連携も必要であるとなっておりますが、この健康になれるまちづくりの推進というところで、ハード面だけだとなかなか難しい部分があります。ソフト面としてハード面と一体的に行動に移せるようなものの取組の一つとして切り出していますので、人が替わったからやっていないとかそういったことではございません。キャッチフレーズについては、東京都が作成した共通の物ですので、非常に分かりやすいものとなっております。</p>
<p>座長</p>	<p>むしろこの分野は進化していると思います。先程も意識せずの話がありましたが、いちょう祭りがコロナで中止の間に、日本遺産を活用してスマホを持って歩くというのがありましたが、ああいうのも含めてかなり自然に歩いたら健康になるという意味で取り組んでいる部分も、今は機器も使ったり、あとは評価ができるようになりました。前はマップを配った枚数とか、そういう評価しかできなかったのが、実際に歩いた人が何人いてといった評価もできるようになってきたので、そういうのも含めて指標も設定しやすいので、上流の方をよりやるという意味で出てきたのかなと思います。多少桁がバラバラのような気がするのですが、もう少しそこは見てもらった方が、すごく具体的なのとボヤッとしたのが混ざっているような気も若干しました。</p>

	<p>他に御意見等ございませんか。</p> <p>(なし)</p>
(3)その他	
発言者	内容
事務局	<p>その他として、資料3、A4横の資料です。こちらが今まさしく議論をさせていただいていた施策の部分も含めて、今後冊子として保健医療計画というものが作成されていきます。そちらの作成イメージを用意したものになります。現状では粗々な感じのデザインのイメージというところで共有させていただければと考えております。今回の計画については、一応冊子としては、今第3期保健医療計画については、こういった形で縦書きの縦になっていますが、横の方向で今は考えています。よく出てきます八王子未来デザイン2040が横になっていますので、そちらに揃えるような形にしていく想定をしています。あくまでもこちらは参考という形で共有させていただきたいと思います。</p>
座長	<p>御意見等ございませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>そうしましたら、本日は特に御意見をちょうだいできなかった方も含めて、資料を見て何かあった場合には、事務局に御意見をいただければ、皆様の御意見を を反映させながら、事務局としての案を作成していきたいと思います。</p>